

# 橋梁定期点検 ～橋梁点検車による紀州大橋の点検～

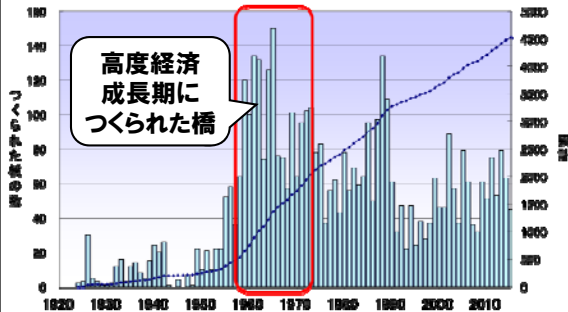
## 定期点検の目的

平成26年から国道・府県道・市町村道・高速道路などの道路管理者は、全ての橋を5年に1度、直接目で見る事ができる距離まで近づいて点検し(近接目視点検)、橋の状態を診断・記録しています。

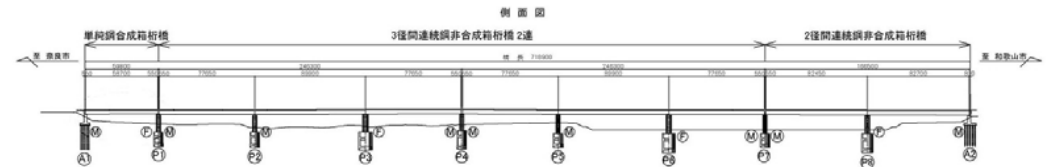
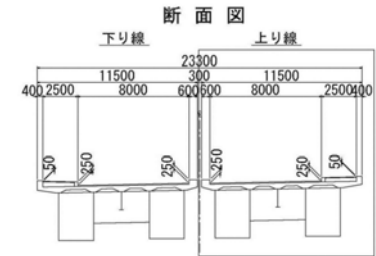
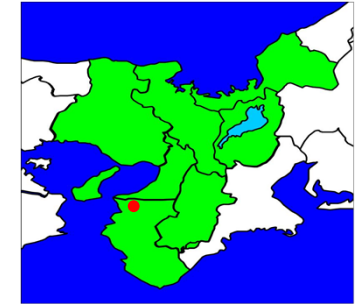
近畿地方で国が管理する橋は約5000橋、その多くは高度経済成長期につくられました。

近畿地方整備局では定期点検によって橋の状態を調べ、必要な補修補強を行うことで、橋の長寿命化に取り組んでいます。

### 国が管理する橋が作られた年度(近畿)



## 紀州大橋概要



和歌山河川国道事務所  
和歌山国道維持出張所  
供用開始 1987年  
橋長 718.90m 全幅員11.50m

上部構造形式  
単純鋼合成箱桁橋  
3径間連続鋼非合成箱桁橋2連  
2径間連続鋼非合成箱桁橋  
下部構造形式  
逆T式橋台2基, 壁式橋脚(RC)8基

## 定期点検の方法

近接目視点検のために、近畿地方整備局では橋梁点検車(橋を点検するための大型車両)を3台保有しています。

橋梁点検車の他にも、はしご、リフト車、ボートや、深い谷などにかかる橋ではロープを伝って点検する場合があります。

